

2007年 第11回日本代替・相補・伝統医療連合会議 (JACT)

乳酸菌の混合培養により得られた発酵産物（生源[®]）と糖質栄養素（アンブロトース[®]）併用にて HIV 量が改善した HIV の一症例

○高良毅、窪田俊 a、関口守衛 b、三浦竜介 c；タカラクリニック、a 国際先端技術総合研究所、b 赤坂関ロクリニック、c ディ・シー・エス

HIV に対する治療は近年目覚ましい進歩を遂げているが、世界的規模ではその患者数は増加の一路をたどっている。薬剤による治療効果も上がっているがその一方で数多くの HIV 患者がその副作用に悩まされている。今回我々は、通常の HIV 治療薬未使用例で乳酸菌の混合培養により得られた発酵産物（以下生源）、糖質栄養素（アンブロトース）併用のみで HIV 量が劇的な改善を認めた HIV 症例を経験したので若干の考察を加えて報告する。

【症例】

36 歳、男性。2006 年 11 月 29 日風邪症状を主訴に来院。眼球結膜の黄染を認め、血液データにて WBC7400、PLT157000、AST1170、ALT2380 と高値。急性肝炎と診断。外来にて連日肝庇護剤投与、その後順調に回復し同年 12 月 13 日 AST15、ALT59 となった。その後、外来経過観察中、咳嗽を主訴に 2007 年 1 月 31 日再診、採血にて WBC2900、PLT101000 と低下を認めた。2 月 5 日には WBC3000、PLT89000 と PLT が更に低下したため、念のため HIV 検査施行し、HIV (+) との診断を受けた。そこで HIV 専門病院へ紹介した。その間に生源を 60g/日とアンブロトース 6g/日を投与した。

【結果】

経過中、

2007 年 2 月 16 日

HIV 量 160000copies/ml、CD4 192cells/ μ L、CD8 764 cells/ μ L

同年 3 月 16 日

HIV 量 3100copies/ml、CD4 339 cells/ μ L、CD8 975 cells/ μ L

同年 5 月 18 日

HIV 量測定不能の低レベル、CD4 429 cells/ μ L、CD8 841 cells/ μ L

と改善を認めた。また、咳嗽も消失した。

【考察】

今回我々は、①腸管内の細菌叢を生源により改善し、サプリメントと腸管粘膜との接触を増加。②生源が有するバイオジェニックス効果。③生源に含まれる糖質栄養素及び他の種類の糖質栄養素（アンブロトース）を加えることによるリンパ球のレセプターの正常化。④レセプターが正常化されたリンパ球の連鎖的な免疫反応の惹起。を期待した。結果は期待通りに HIV 量を減少させることに成功した。しかし、これが生源単独、あるいは糖質栄養素単独で起こりえるか、又これらの相乗効果によるものなのか、今後の症例の積み重ねにより解明されていくものと思われる。

【結論】

副作用のないサプリメントが HIV 量の改善に有効であったとみなされる貴重な一例として報告しておきたい。